

献詠入選句（一般の部）

一位

鹿尾菜刈り終へて真水に洗ふ鎌

神奈川県茅ヶ崎市

塚本浩彦

二位

枯蔓となりて名前を失へり

神奈川県横浜市

大坪正美

三位

日脚伸ぶ木の口をして土人形

神奈川県中郡大磯町

前田恵美

四位

杭のみの瀬しぶきとなる崩れ築

千葉県千葉市

松田素風

献詠入選句（小学生の部）

一位

小クワガタ小さいけれどかずいるよ

平塚市立富士見小学校 西海伸哉

二位

ゆきむしがゆきのはじめをしらせるよ

大磯町立大磯小学校 宇野美咲

三位

手がまっ赤たくさんつくった雪だるま

大磯町立大磯小学校 長谷川晴香

四位

秋風よ私をどこかに連れてって

大磯町立大磯小学校 梅山容子

献詠入選句（中学生の部）

一位 随神門雪解け水に照らされて

岩沼市立岩沼中学校

藤川大心

二位 桜散る哀しきことをつづる手よ

清美平成中等教育学校

青山和加

三位 遠くてもつながる想い天の川

岩沼市立岩沼中学校

後藤嘉杏

四位 たんぽぽを賽銭代わりの子どもかな

岩沼市立岩沼中学校

佐久間遼多

献詠入選句（高校生の部）

一位 親指に団栗帽子被らせて

愛知県立豊橋西高等学校

中澤琥太郎

二位 眼前の平和の如くスワン来る

岐阜県立飛騨神岡高等学校

中島聖音

三位 サヨナラ負け鯛焼の尾にかぶりつく

愛知県立岡崎東高等学校

河合風芽

四位 夕時雨クラス日誌の夕席欄

愛知県立幸田高等学校

齋藤花央梨